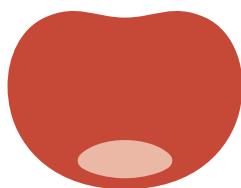


大分県福祉会 会報

第 90 号
2025 令和 7 年度



わらべうたを楽しむ明野しいのみ保育園の園児と職員



社会福祉法人
大分県福祉会



もくじ

3	もくじ / 新理事長 就任のごあいさつ
4-7	TOPICS
8	法人の理念・中期事業計画推進のための重点的取り組みと成果
9-11	法人データ
12-13	法人からの報告
14-17	各施設からの報告・寄贈者一覧
18-19	法人概要
20	私たちの想いを伝えるメディア
21	社会貢献活動

新理事長 就任のごあいさつ

社会福祉法人 大分県福祉会
理事長 安藤 覚



みなさまにおかれましては、大分県福祉会
対しまして、平素より温かいご支援とご
協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、6月17日開催の理事会にお
きまして、有松 一郎前理事長の後任とし
て、新理事長に推挙され就任いたしました
安藤でございます。

有松前理事長は、長年にわたり優れた
リーダーシップを発揮され、その発想力と
企画力をもって当法人の運営に尽力し、多
くの革新的な取り組みが実現されました。
創立73年の長い歴史をもつ当法人のかじ
取り役を引き継ぎ、大変光栄に思うととも
に、その重責に身の引き締まる思いです。

私は、県職員時代に児童福祉分野に21
年携わってきました。また、2022年（令
和4年）からは森の木施設長として施設を
運営させていただいております。これまでの
知識経験を生かしつつ、最前線である現
場の職員の声を大切にしたいと考えます。

現場の声は、サービスの質を高め、利用児
者の生活の質を向上させるための貴重な財
産です。現場の声をしっかりと反映させ、
職員一丸となって協働する組織づくりを目
指していききたいと思います。また、福祉サ
ービスを提供するうえで、行政や関係機関、
地域のみなさまとの連携は欠かせません。
今後、さらなる連携を図り、より多くの方々
に必要な支援を届けられるよう努めてまい
ります。

今日まで大分県福祉会が長い歴史をかけ
て積み重ねてきたさまざまな方の「想い」
を大切にしながら、利用児者が安心して過
ごせる場所、職員が誇りをもって働ける場
所、そして大分県福祉会の理念であります
「だれもが笑顔で暮らせる社会をつくる」
ことを目指して取り組む所存です。今後と
もみなさまのお力添えとご支援・ご協力を
賜りますようお願い申し上げます。

プロフィール

1961	大分市生まれ
1983	大分県採用
1994.4～99.5	児童家庭課（児童措置費など担当）
2004.4～08.3	中央児童相談所（ケースワーカー）
2008.4～09.3	少子化対策課（児童育成班）
2011.5～16.3	中央児童相談所（相談支援課班総括・ 心理支援課長・総務企画課長）
2016.4～19.4	二豊学園（次長・学園長）
2019.4～22.3	中央児童相談所長
2022.3	大分県退職
2022.4	大分県福祉会採用（森の木施設長・ 法人理事）

資格：社会福祉士

趣味：ボウリング（大分県ボウリング連盟副理事長）
2012 全日本年齢別選手権大会 40代の部 優勝
2013 全日本シニア選手権大会 ダブルス 優勝
◇ 個人総合 優勝
2013 世界シニア選手権大会日本代表（ラスベガス）
パーフェクトゲーム 43回

1 保育と地域コミュニティの場、 地区の家「えんえん」がオープンしました

えんえんは、2021年から検討を重ね、4年の歳月を経てようやく実現したプロジェクトです。制度のはざまにいる子どものケアや、ご近所さんの顔が見えるようになるための場づくりを目指しています。

0歳児からの一時預かり、病後児、医療的ケア児の子育て支援の拠点です。同時に、誰もが気軽に立ち寄れる、地域に開かれた場所でもあります。建物は滝尾保育園と羽田東公園をつなぐように建てられており、まわりには地域の人や子どもたちと植栽した野原が広がっています。地域のさまざまな人が自然にまじわり、心地よく過ごせる場です。みなさまお気軽にお立ち寄りください。



えんえん
Instagram

1 野原と畑

えんえんでは、建物を囲むように野原や畑が広がり、タイム、レモンバーム、ラベンダーグロッソ、ローズゼラニウムなど季節ごとにたくさんのハーブが育ちます。葉っぱの香りを楽しんだり、お茶にして味わったりしてください。

2 コンポスト

野原の刈草やカフェから出るコーヒーかす、米ぬかなどを発酵させ、堆肥を作っています。地域の山で拾った枝や落ち葉を組んで作った「シガラ」は、雨水を溜め、生きものや微生物を育て、まわりの植物も元気にしてくれます。

3 羽田東公園

えんえんに隣接する、昔から親しまれている公園です。地域の人がグラウンドゴルフを楽しんだり、子どもたちが遊具で遊んだりしています。滝尾保育園やえんえんの子どもたちも訪れます。疲れたら軒下広場でひと休みしてください。

4 軒下広場

滝尾保育園側と羽田東公園側、それぞれの出入口には広い軒下広場があります。天気の良い日はテーブルを出して食事やお茶のワークショップを楽しみ、暑い日は木陰に、雨の日は子どもたちの遊び場になります。

5 一時預かり保育室「さくらんぼ」

大分市内にお住まいで、保育所・幼稚園・認定こども園に通っていない0歳（生後4か月）～就学前のお子さんを対象に、一時預かり保育を行っています。お仕事や育児のリフレッシュなどにご利用いただけます。

6 病後児保育室「みんと」

病気が完全に治っておらず、安静が必要な回復期にあり、まだ集団保育が難しい子どもたちをお預かりします。公園の緑が見える明るいお部屋です。利用には医師の確認を受けた申請書の提出が必要です。

7 ビッグ土間

滝尾保育園と羽田東公園をつなぐ、道のような空間です。登下校の抜け道になったり、地域の人や井戸端のような場になったりと、えんえんが地域の日常と地続きにつながる交流の場でもあります。自分だけの居心地のよい場所を見つけてください。

8 シェアキッチン

カウンターでどなたでもコーヒーやハーブティーを注文でき、自由に過ごしていただけます。お茶をしながら談笑したり、パソコンで作業したりと、使い方はさまざま。滝尾保育園の調理員による料理教室やキッチンの貸し出しもおこなっています。

9 相談室

子育てや生活、学校や家庭の悩みに対し、専門の相談員が話を聞き、必要な支援と一緒に考えます。大分県福祉会が運営する児童家庭支援センター「ゆずりは」による相談会や、子育て広場「つぼみ」も定期的開催しています。

10 多目的室

えんえんでは、地域の交流が生まれる活動を応援しています。多目的室は、習いごと、会議、ワークショップなどに使える貸しスペースです。放課後は、子どもたちが宿題や読書をしています。公園に面した明るく開放的な空間です。

11 小棚スペース

カーブした本棚には、滝尾保育園が力を入れている絵本をはじめ、児童書や雑誌などが並び、どなたでも自由に読むことができます。一角では駄菓子の販売や、地域で創作活動をしている方向けに有料での「棚貸し」もおこなっています。

12 オープンスタジオ

地域の人やものがたりをしたり、放課後には小学生たちがここで勉強をしたりしています。人数が多いときは、相席や共有でのご利用にご協力ください。テーブルは円形や楕円形に形を変えられるため、活動や人数に応じてお使いいただけます。



2 高校生と一緒にSDGsで遊ぼう

6月27日、大分県立情報科学高校「未来創造部」の生徒が明野しいのみ保育園に来園し、年長児とSDGs交流会をおこないました。生徒たちは趣向を凝らしたプログラムを作成。まずは、生徒出演の動画を見ながら間違い探しゲームで「水を出しっ放しにしない」「ポイ捨てをしない」など正しい行動を確認しました。次はコーナーに分かれての活動でダンス、絵本の読み聞かせ、SDGsカルタ、コリントゲーム、積み木などで子どもたちは何度も繰り返し遊びました。最後に生徒から手作りの積み木と時計の玩具をプレゼントしてもらい大喜びの子どもたち。子どもたちからは、ペットボトルで作ったキーホルダーをプレゼントしてお別れしました。さまざまな遊びを通してSDGsを身近に感じることができ、とても有意義な時間になりました。



3 できることから未来のために

明野しいのみ保育園では、「まだ着られるのにもったいない」との思いから、着られなくなった服を再活用する「子ども服おゆずり会」をおこなっています。家庭からご提供いただいた服を無償で譲渡するもので、園内循環型リユースの取り組みとなっています。服のリユースは資源を節約して地球環境を守ることにつながり、園で取り組んでいるSDGsの一環でもあります。また、おゆずり会で残った服は、支援団体を通じてポリオワクチンなどの支援に使われ、価値ある取り組みになっています。これからも地域や保護者の方と協力しながら「物を大切に作る心」「支え合う社会の意識」「思いやりの心」を子どもたちや保護者の方と一緒に育んでいきたいと考えています。



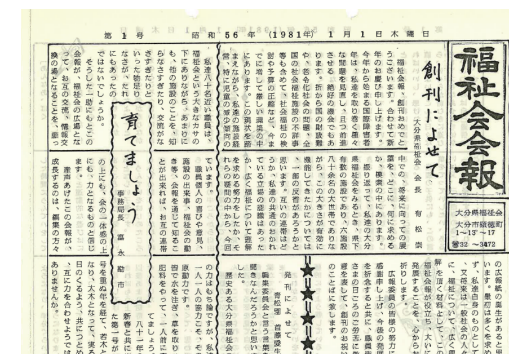
4 クリエイティブ研修にて、国際福祉機器展へ

昨年10月2～4日に東京でクリエイティブ研修がおこなわれました。3カ所の会場で芸術作品に触れたほか、非日常のなかで味わう食文化も堪能しました。研修2日目には、国際福祉機器展へ参加しました。最新の福祉機器を実際に見たり、業者の方からの説明を聞いたりすることができました。支援者の困りが反映されていたり、利用者の要望が取り入れられていたのが印象的でした。この場で説明を聞くだけでなく、業者の方に「こうしてほしい」「こういう機能がほしい」などの要望を伝えることができた場もあり、とても充実した研修となりました。



5 会報90号になりました

会報1号は、1981年1月1日に発刊されました。創刊当時は、B4サイズ用紙の表裏に見出しを手書きし、文章は和文タイプライターでした。写真やイラストは切り貼りしたものをレイアウトし、印刷していました。紙面の割付も外注せず、各施設が持ち回りで、2カ月に1回程度で作成していたそうです。現在、広報委員会は各施設から数名ずつの職員で構成されており、年1回発行の会報の作成に取り組んでいます。外部の編集者やデザイナーのアドバイスを受けながら、SNSやオンライン会議などのデジタルツールを活用し、各施設と情報共有をしながら進めています。



6 ショートステイの受け入れが始まりました

子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）は、家庭の一時的な事情（病気、出張、育児疲れなど）により、子どもの養育が困難になった際に、市からの委託を受けて児童をお預かりする事業で、森の木園と児童家庭支援センターHOPE（佐伯市）で受け入れています。短期間でも安心して子どもを預けられる場として、ショートステイのニーズは年々高まっています。児童養護施設では、空き部屋を利用して受け入れるため、入所状況により制限をせざるを得ない状況がみられていました。そこで昨年度、ショートステイ専用居室を整備し、本年5月から専用居室での受け入れを開始しました。今後は安定した受け入れ、多様な家庭のニーズに応じたきめ細やかな支援を目指します。



7 ヤングケアラー等見守り訪問支援事業について

児童家庭支援センターゆずりはでは、大分県からの委託を受けて「ヤングケアラー等見守り支援事業」を実施します。ヤングケアラーとは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的におこなっている子どもを指します。今年度は、このような役割を担う子どもを対象に宿泊キャンプ（年3回）やサロンを実施予定です。キャンプでは、さまざまな方と協働してボウリングや野外活動を行います。1泊2日寝食をともにすることで、今の生活について考えるきっかけや気づき、学びの時間となることをねらいとしています。私たちはこの事業において、子どもたちが安心して楽しい時間を過ごすなかで、一人の子どもとして大切にされている感覚を体感し、大人との出会いによって将来なりたい自分をイメージするきっかけを作ってほしいと願っています。



8 医療的ケア児支援センターの役割

相談支援事業所うえの園は、2024年4月より、大分県医療的ケア児支援センター「みつわ」の福祉専門分野の相談員としての業務について県より委託されています。「みつわ」は、医療的ケア児やその家族、支援関係者からの相談をワンストップで受けつけています。現状では、医療的ケア児とその家族が安心して過ごすための社会資源はまだ不十分です。「みつわ」は、相談業務のみならず、既存の資源を最大限活用する視点や新たな資源を創出する意識を持ちながら地域を耕す役割を担っています。今年度は、各市町村を巡回し、県内の医療的ケア児等コーディネーターのネットワークづくりや各地域の課題を把握するための地域アセスメントなどに着手しています。



大分県福祉会が目指していること

だれもが笑顔で暮らせる社会をつくる

目指していることのために実行すること

ひとりの困りごとにも まなざしを向ける

職員一人ひとりが大切にすること／行動指針

1. 一人ひとりに寄り添うこと

支援を必要とする子どもたちや障がいのある人、困っている人の話に耳を傾け、解決策や可能性を探るために一緒に考え、行動する。

2. よりよい支援を問い続けること

時代や社会のニーズの変化を察知し、いまの支援のあり方を見直す姿勢や新たな支援のあり方を問う姿勢をもつ。

3. チームの力を信じること

多様な施設と専門性をもつたくさんの職員が、お互いを尊重し、それぞれの得意をつなげれば、困難や課題を乗り越え、目指していることを実現できると信じる。

4. 職員も自分らしくあること

職員もその人らしくいられるよう、生活でも仕事でも自分自身の成長や自己実現に向き合う。

5. 地域とともにあること

社会や地域における私たちの役割を意識し、地域に根ざした活動をととして、地域の人とともに福祉を実践する。

中期事業計画推進のための重点的取り組みと成果

2024年は、中期事業計画（2024～2028年度）の初年度にあたり、新たな使命、理念及び方針に基づき目指すべき将来像を実現するため、経営基盤の強化、地域貢献活動の強化、人材の確保と定着のための取り組み強化などを重点的にこなった。

1. 使命・理念・方針の浸透を図る

・2024年8月夏期職員研修会にて、広報委員会より（新理念）「大分県福祉会が目指していること」等が決まるまでの経緯も含めた紹介をおこない、法人の目指すことや価値観を共有した。

2. 経営基盤の強化と法人本部の機能強化に取り組む

・両保育園を中心にSNSの活用が進んでおり、法人全体で外部講師によるネットリテラシー研修を開催し、職員の意識向上に取り組んだ。
・Windows11搭載のパソコンに更新したり、行政などへの各種電子申請に取り組んだり、事務業務の効率化を図った。

3. 人材確保、育成および定着に向けた取り組みを推進する

・県内外の各種就職説明会に出向き採用活動を実施したほか、施設受け入れの実習生へは、情報提供を積極的におこない人材確保への取り組みをすすめた。また、採用試験ではリモート面接を採用したことで、県外からの応募の機会が広がった。
・国の処遇改善事業を活用し、給与規則の改正など職員の処遇の充実を図った。

・CSP（コモンセンスペアレンティング）の導入をすすめ、受講することで職員の資質向上に伴い意欲の向上を図れた。

4. 施設の多機能化、高機能化に取り組む

・児童家庭支援センターHOPEでは、ショートステイなどの受入を積極的におこない、森の木本園においては、ショートステイ専用居室が完成し、さらに受け入れ態勢が整った。
・相談支援事業所うえの園では、かねてから医療関係機関との連携を進めていたことで、大分県医療的ケア児支援センターの相談業務委託を受けた。

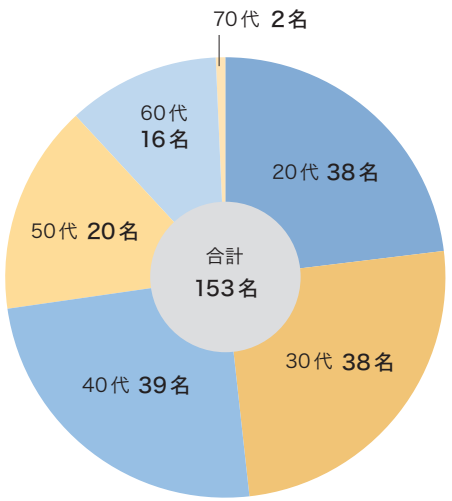
5. 地域における公益的な取り組みの推進と情報発信をおこなう

・滝尾保育園が運営する地区の家「えんえん」が、2025年5月1日に開所し、地域資源としての活用を進める。

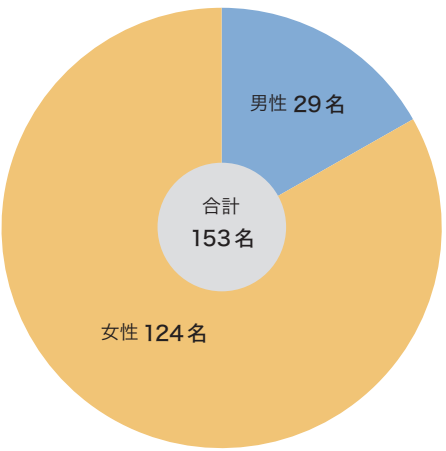
6. 環境保護に関連した取り組みを推進する

・保育園では、環境のことについて考える機会となるような活動を増やし、子ども服のリサイクルなどにも積極的に取り組んだ。

職員年齢構成（全体）



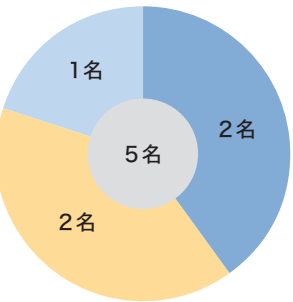
職員男女比（全体）



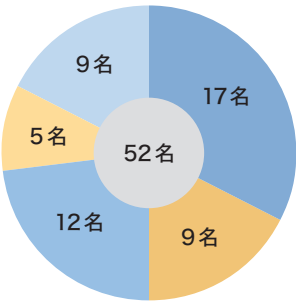
福祉の職場は女性の割合が多いが、大分県福祉会では保育園以外の施設において約3割の男性職員が活躍している。今後も利用者への同性介助ができるような職員配置に取り組んでいく。

職員年齢構成（施設別）

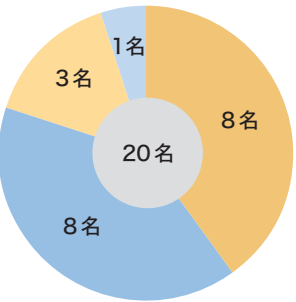
別府厚生館



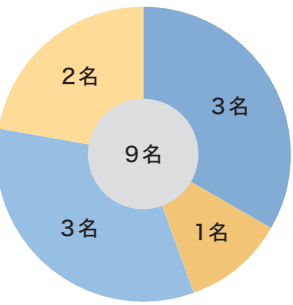
森の木



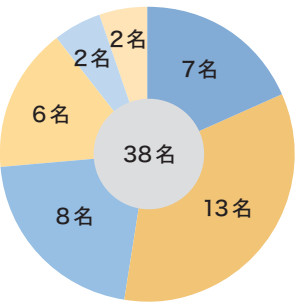
うえの園



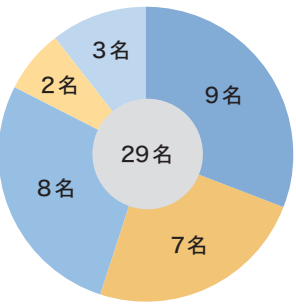
清明あけぼの学園



滝尾保育園



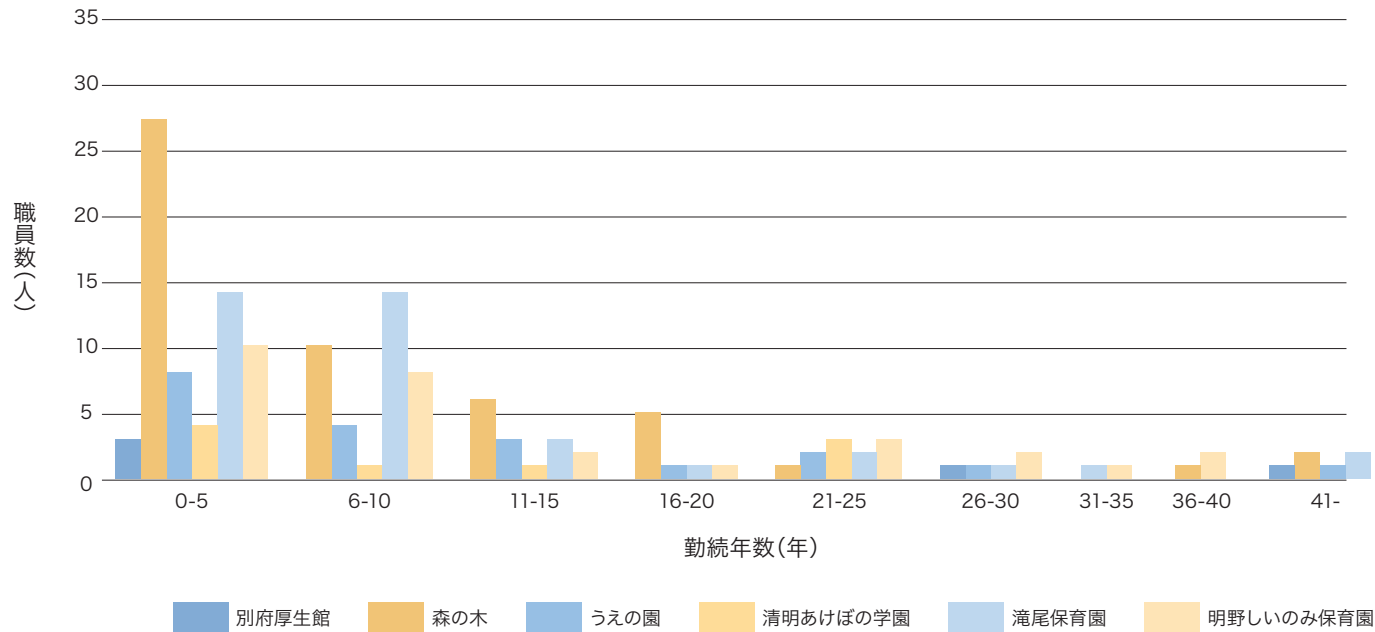
明野しいのみ保育園



20代 30代 40代 50代 60代 70代

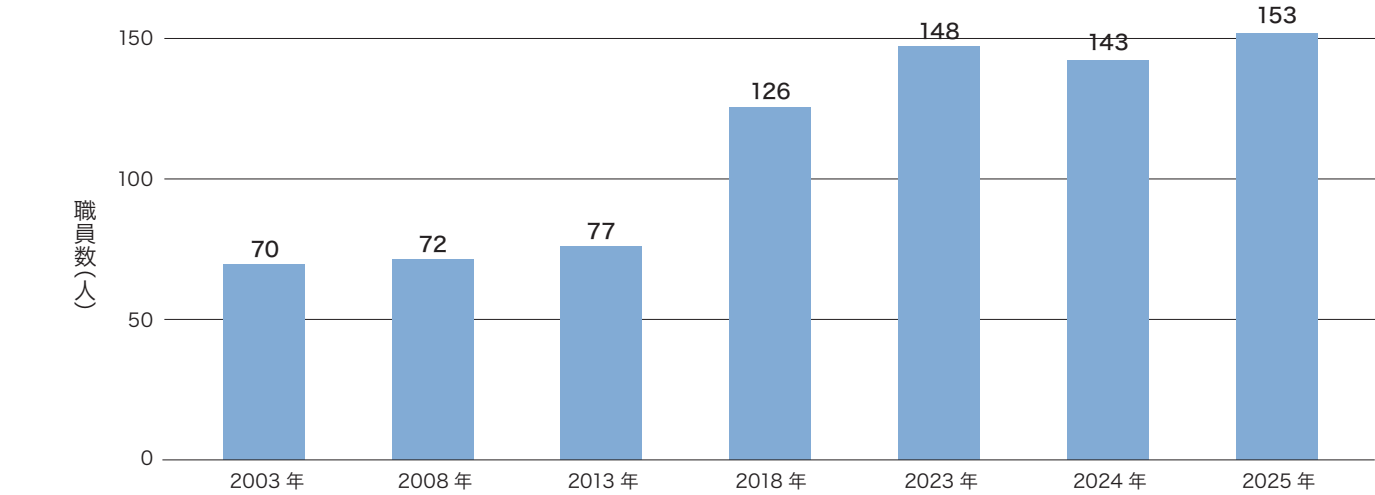
※2025年4月1日現在。常勤職員のみ（パート・アルバイト含まず）。

勤続年数



※2025年4月1日現在。常勤職員のみ（パート・アルバイト含まず）。

職員数推移



大分県福祉会では、1999年にうえの園の発足、2005年に大分市立わかば園と養護施設青松園を移転統合し、森の木が開園したことを受け、職員が増加してきました。その後の約20年間においても、地域小規模児童養護施設の開設、保育園の分園、児童クラブ、児童家庭支援センターや相談支援事業所の新設など、地域のニーズに合わせた事業展開をしたことで、さらなる職員の増員を進めています。が、人材確保には苦慮している面があります。

※2025年4月1日現在。常勤職員のみ（パート・アルバイト含まず）。

職種構成

	別府厚生館	うえの園	清明あけぼの学園	森の木	滝尾保育園	明野しいのみ保育園
施設長	1	1 ※B	1 ※B	1	1	1
副施設長				1	1	
次長		1 ※C		1		
センター長				1		
副センター長				1		
サービス管理責任者		1 ※C				
児童発達支援管理責任者			2 （うち1名 ※D）			
母子支援員	3					
少年指導員	1 ※A					
生活支援員		8				
児童指導員			2 （うち1名 ※D）	10		
保育士			4	18	29	23
相談支援員		3		5		
職業指導員			1	1		
里親支援専門相談員				2		
家庭支援専門相談員				1		
心理担当職員				4		
栄養士		1		1	2	4
調理員		1	1	3	2	
看護師		1		1	2	1
放課後児童支援員					1	
事務員	1 ※A	2 （うち1名 ※E）		2 （うち1名 ※E）		
作業療法士		1				
言語聴覚士		1				
合計	5	20	9	52	38	29

※2025年4月1日現在。常勤職員のみ（パート・アルバイト含まず）。 A,B,C,D,Eは兼務。

実習受入数（2024年度）

実習受入数 17校、延べ人数 62名

受け入れ校の例 ●大学（県内）：別府大学短期大学部／別府溝部学園短期大学／大分大学／東九州短期大学／大分県立芸術文化短期大学 ●大学（県外）：福岡女学院大学／中村学園大学短期大学部／福岡県立大学／北九州市立大学 ●専門学校（県内）：智泉幼児保育専門学校／智泉福祉製菓専門学校／大原学園 ●専門学校（県外）：福岡こども専門学校／九州医療専門学校／九州医療科学大学専門学校 ●高校：大分南高等学校／東明高等学校

各種休暇等取得者（2024年度）

年次有給休暇	育児休業	看護休暇	育児目的休暇	介護休暇	特別休暇	その他の休暇
221人	6人	17人	15人	12人	1人	13人
取得率 66.67%※	1099日	66日7時間	38回	34日7時間	8日	462日4時間

※取得日数16611時間／保有日数24917時間（前年度 58.03%）

人材育成奨学金返還助成

別府厚生館	うえの園	清明あけぼの学園	森の木	滝尾保育園	明野しいのみ保育園	計
2人	0人	0人	4人	1人	2人	9人
125,328円	0円	0円	340,122円	39,996円	175,380円	680,826円

処遇改善費

	別府厚生館	うえの園	清明あけぼの学園	森の木	滝尾保育園	明野しいのみ保育園	計
公的	758,400円	7,448,856円	6,646,180円	10,415,570円	30,371,449円	26,815,840円	82,456,295円
法人	696,000円	1,654,710円	0円	3,678,000円	0円	0円	6,028,710円

法人からの報告

【令和2024年度】

8月臨時評議員会〈書面決議〉 2024.8.6

（1）定款の変更について審議をおこない、原案どおり承認された。

9月定時理事会 2024.9.18

（1）規則改正について（2）滝尾保育園みらいの福祉施設「えんえん」の設計料追加契約について（3）別府厚生館・森の木・滝尾保育園パソコンの入替について（4）森の木・滝尾保育園電話機入替について（5）滝尾保育園食器洗浄機入替について（6）第一次及び第二次補正予算について（7）評議員選定委員の選任について審議をおこない、原案どおり承認された。報告事項では、（1）業務執行状況の報告（2）滝尾保育園みらいの福祉施設「えんえん」について（3）森の木佐伯地域小規模施設賃貸契約解除について（4）森の木子育て支援短期入所事業施設整備完了について（5）ブランディング推進について報告をおこなった。

12月定時理事会 2024.12.20

（1）森の木 照明器具のLED化の契約について（2）森の木 支援ソフトウェア「福祉の森」リース契約について（3）森の木 法人車購入の契約について（4）積立資産の取り崩しについて（5）第二次補正予算および第三次補正予算について審議をおこない原案どおり承認された。報告事項では、（1）職務執行状況の報告（2）滝尾保育園みらいの福祉施設「えんえん」について（3）指導監査結果について（4）2024年度第1回福祉サービス運営委員会報告について報告をおこなった。

3月定時理事会 2025.3.25

（1）定款の変更について（2）規則改正について（就業規則、給与規則、育児休業等に関する規則、介護休業等に関する規則）（3）運営規定の改正について（4）森の木 本園定員変更について（5）うえの園・清明あけぼの学園の契約について（支援ソフトウェア、Wi-Fiルーター、電力保安監視モニター）（6）2024年度積立資産の取り崩しおよび目的外使用について（7）2024年度補正予算について（8）2025年度事業計画（案）について（9）積立資産の取崩しおよび目的外使用について（10）2025年度当初予算（案）について審議をおこない原案通り承認された。報告事項では、（1）職務執行状況の報告（2）滝尾保育園みらいの福祉施設「えんえん」について（3）指導監査結果について（4）2024年度第2回福祉サービス運営委員会報告について（5）2025年度役員体制について報告をおこなった。

【2025年度】

5月定時理事会 2025.5.26

（1）2024年度第四次及び第五次補正予算について（2）2024年度事業報告及び決算について（3）2024年度監事監査報告について（4）規則改正について（役員等の報酬等に関する規程、公印規則、旅費規則、給与規則）（5）評議員選定委員会の開催並びに次期評議員選任候補者の推薦について（6）定時評議員会の開催並びに次期理事・監事選任候補者の推薦について（7）次期評議員選定委員の選任について審議をおこない、原案どおり承認された。報告事項では、（1）職務執行状況の報告、（2）地区の家「えんえん」について（3）2024年度森の木基金活用実績について（4）新規事業について（保育所等訪問事業、児童発達支援事業）（5）今後の予定について報告をおこなった。

6月定時評議員会 2025.6.17

（1）2024年度事業報告及び決算について（2）2024年度監査報告について（3）定款の変更について（4）役員等の報酬等に関する規程の改正について（5）次期理事・監事の選任について審議をおこない原案どおり承認された。報告事項では、（1）2025年度事業計画及び当初予算について（2）地区の家「えんえん」について（3）2024年度森の木基金活用実績について（4）新規事業について（保育所等

訪問事業、児童発達支援事業）（5）今後の予定（夏期職員研修会）について報告をおこなった。

6月臨時理事会 2025.6.17

（1）理事長及び常務理事の選任について（2）役員等退職慰労金について（3）2025年度第一次補正予算について審議をおこない原案どおり承認された。報告事項は、（1）評議員選定委員会の報告（2）2025年度事業計画及び予算について（3）今後の予定について報告をおこなった。

福祉サービス運営委員会 2024年度第1回 2024.11.5

法人事務局3階会議室において開催された。理事長、委員長のあいさつの後、2024年度前期の重点的取り組み、利用者等からの苦情や要望、事故報告及びヒヤリハットについて、法人本部及び各施設から報告をおこない協議がおこなわれた。委員からは、外国籍の入所利用者の有無について質問があった。また避難非常用バッグの中の火気管理について、通勤時の交通事故について、園児間の噛みつき報告についてご意見をいただいた。総評では、さまざまなリスクに関する研修の充実や他業種の手法などを参考にすることで事故防止を図るよう取り組むことと併せ、職員にとってストレスにならないようなリスク管理を考えることが大切であり、職員のモチベーションの維持について法人としての取組みを進めることが望まれるとのご意見をいただいた。これらで食物アレルギーについてはあまり意識できておらず安全対策の柱にするために自らを処分した。今後二度と安易に事故を起こさない戒めであると理解いただきたい。年末年始に向かい子どもたちも心機一転の時期を迎え浮ついた時期になるので、気を引き締め取り組んでいきたいとの理事長のあいさつで会を閉じた。

福祉サービス運営委員会 2024年度第2回 2025.3.13

法人事務局3階会議室において開催された。理事長、委員長のあいさつの後、2024年度後期の重点的取り組み、利用者等からの苦情や要望、事故報告及びヒヤリハットについて、法人本部及び各施設から報告をおこない協議がおこなれた。委員からは、離れて暮らす家族の様子が伺えるようなオンライン面会や行事参加を積極的におこなうことについて、森の木定員調整への説明について、病後児保育への期待について、園児のSDGsへの取組がよい経験になっていることについてご意見をいただいた。総評では、コンプライアンス意識の向上がはかられてきたことにより、職員の働き方を拘束することにならないようにする必要があり、LINEWORKSの活用などは業務の効率化を進めるうえでよい取組みである。法人でもさまざまなツールの活用を進めていくことを推奨するとのご意見をいただいた。委員のみなさまからのご意見は、励みにもなり、ヒントもいただいた。「えんえん」については、何をしていくのか早く情報提供をしていきたい。また限られた人材投入については課題がたくさんあり、AIの活用なども検討し業務にあったしていきたいとの理事長のあいさつで会を閉じた。

夏期職員研修会 2025.8.9

法人の全職員が集まる夏期職員研修をトキハ会館で開催しました。第一部では、明野しいのみ保育園「SDGsについて」と清明あけぼの学園「トラウマインフォームドケアについて」の事例発表をおこない、それぞれにグループで活発な意見交換がされました。第二部では、今年度退任された理事・監事・評議員のみなさまへの感謝状贈呈式に始まり、職員への勤続20年表彰や新採用職員の紹介など法人の歴史を感じる時間となりました。リラックスムードのなか、他施設の職員と交流する時間は、お互いの労をねぎらい、今後の協働を促していくための関係を深める機会になりました。

法人からの報告

2024年度の法人本部、および各施設の収支報告です。

大分県福祉社会事務局および各施設においては、関係書類の閲覧に応じる用意があります。

単位：円

資金収支計算書

勘定科目	法人本部	別府厚生館	うえの園	清明あけぼの学園	森の木	滝尾保育園	明野しいのみ保育園	合計
事業活動収入	4,352	42,024,676	166,712,130	77,799,991	424,929,956	311,362,042	231,097,029	1,253,930,176
事業活動支出	13,875,093	46,874,123	155,612,102	85,066,800	366,489,973	283,560,001	214,528,650	1,166,006,742
事業活動資金収支差額	△ 13,870,741	△ 4,849,447	11,100,028	△ 7,266,809	58,439,983	27,802,041	16,568,379	87,923,434
施設整備等収入	0	0	0	0	13,510,000	189,940,000	0	203,450,000
施設整備等支出	2,153,579	116,240	623,260	0	26,350,193	196,381,000	6,312,300	231,936,572
施設整備等資金収支差額	△ 2,153,579	△ 116,240	△ 623,260	0	△ 12,840,193	△ 6,441,000	△ 6,312,300	△ 28,486,572
その他の活動収入	15,405,581	6,500,000	360,000	15,990,000	10,500,000	0	0	48,755,581
その他の活動支出	112,320	673,696	7,426,940	3,314,201	50,425,450	4,990,280	5,100,193	72,043,080
その他の活動資金収支差額	15,293,261	5,826,304	△ 7,066,940	12,675,799	△ 39,925,450	△ 4,990,280	△ 5,100,193	△ 23,287,499
当期資金収支差額	△ 731,059	860,617	3,409,828	5,408,990	5,674,340	16,370,761	5,155,886	36,149,363
前期末支払資金残高	3,452,759	5,631,127	31,031,878	8,020,751	44,180,811	10,727,470	18,309,321	121,354,117
当期末支払資金残高	2,721,700	6,491,744	34,441,706	13,429,741	49,855,151	27,098,231	23,465,207	157,503,480

事業活動計算書

勘定科目	法人本部	別府厚生館	うえの園	清明あけぼの学園	森の木	滝尾保育園	明野しいのみ保育園	合計
サービス活動収益計	0	33,760,333	165,618,799	77,132,308	418,529,953	307,050,667	228,760,694	1,230,852,754
サービス活動費用計	15,878,885	49,287,755	158,467,916	86,635,609	373,761,155	291,267,349	221,794,957	1,197,093,626
サービス活動増減差額	△ 15,878,885	△ 15,527,422	7,150,883	△ 9,503,301	44,768,798	15,783,318	6,965,737	33,759,128
サービス活動外収益計	74,353	8,264,343	1,093,331	667,683	6,400,003	4,311,375	2,336,335	19,281,222
サービス活動外費用計	0	0	668,421	410,547	2,660,850	653,719	406,596	4,800,133
サービス活動外増減差額	74,353	8,264,343	424,910	257,136	3,739,153	3,657,656	1,929,739	14,481,089
経常増減差額	△ 15,804,532	△ 7,263,079	7,575,793	△ 9,246,165	48,507,951	19,440,974	8,895,476	48,240,217
特別収益計	15,335,580	0	0	0	13,510,000	189,940,000	0	218,785,580
特別費用計	1,830,147	374,176	112,447	2,671,545	21,427,450	2,315,402	2,125,234	30,856,401
特別増減差額	13,505,433	△ 374,176	△ 112,447	△ 2,671,545	△ 7,917,450	187,624,598	△ 2,125,234	187,929,179
当期活動増減差額	△ 2,299,099	△ 7,637,255	7,463,346	△ 11,917,710	40,590,501	207,065,572	6,770,242	236,169,396
前期繰越活動増減差額	△ 14,214,179	37,805,177	69,171,876	13,683,090	172,836,643	66,406,802	47,402,786	393,092,195
当期末繰越活動増減差額	△ 16,513,278	30,167,922	76,635,222	1,765,380	213,427,144	273,472,374	54,173,028	633,127,792
基本金取崩額	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の積立金取崩額	0	6,500,000	360,000	15,990,000	10,500,000	0	0	33,350,000
その他の積立金積立額	112,320	0	6,200,000	0	39,400,000	0	1,000,000	46,712,320
次期繰越活動増減差額	△ 16,625,598	36,667,922	70,795,222	17,755,380	184,527,144	273,472,374	53,173,028	619,765,472

貸借対照表

勘定科目	法人本部	別府厚生館	うえの園	清明あけぼの学園	森の木	滝尾保育園	明野しいのみ保育園	合計
流動資産	2,970,051	7,894,923	40,251,920	20,716,912	66,497,183	42,345,254	33,393,492	214,069,735
固定資産	5,781,877	43,855,592	177,306,772	50,922,530	560,056,446	574,268,778	448,154,978	1,860,346,973
資産の部合計	8,751,928	51,750,515	217,558,692	71,639,442	626,553,629	616,614,032	481,548,470	2,074,416,708
流動負債	714,311	1,403,179	5,810,214	7,287,171	16,642,032	20,447,023	15,805,485	68,109,415
固定負債	864,770	2,323,077	13,163,074	6,998,472	25,513,245	133,868,857	154,960,336	337,691,831
負債の部合計	1,579,081	3,726,256	18,973,288	14,285,643	42,155,277	154,315,880	170,765,821	405,801,246
基本金	23,798,445	0	0	0	0	19,557,000	30,312,000	73,667,445
国庫補助金等特別積立金	0	6,856,337	107,050,182	35,778,419	140,421,208	167,116,778	204,212,821	661,435,745
その他の積立金	0	4,500,000	20,740,000	3,820,000	259,450,000	2,000,000	22,950,000	313,460,000
次期繰越活動増減差額	△ 16,625,598	36,667,922	70,795,222	17,755,380	184,527,144	273,472,374	53,173,028	619,765,472
純資産の部合計	7,172,847	48,024,259	198,585,404	57,353,799	584,398,352	462,146,152	310,647,849	1,668,328,662
負債及び純資産の部合計	8,751,928	51,750,515	217,558,692	71,639,442	626,553,629	616,462,032	481,413,670	2,074,129,908

※ 2025年3月31日現在。

人事異動

(2025年4月1日付)

【昇格】 《うえの園》 リーダー 玉井直生 《森の木》 リーダー 上條智宣 《滝尾保育園》 サブリーダー 藤崎千春 サブリーダー 高橋寿理	【転任】 《うえの園》 下村久美（清明あけぼの学園） 【新採用】 《うえの園》 塚本瞳、山本愛 《清明あけぼの学園》 新森結希 《森の木》 森賢希、白川準、有山咲彩、中島崇太 朝来野晴美、岡村なつみ、木原嘉彦
--	--

《滝尾保育園》 佐藤星、大嶋里歩、櫻香里 《明野しいのみ保育園》 田代真実、本田真唯 【再雇用】 《別府厚生館》 館長 安東一夫（兼顧問・アドバイザー） 【退職】（2025.3.31付） 《清明あけぼの学園》 東純子	《滝尾保育園》 杉山央 《明野しいのみ保育園》 中川恵理子
---	--

定員 16世帯 現員 9世帯 (2025年8月末時点)

力を入れていること

全国母子生活支援施設協議会で提言する3つの支援の柱である「産前産後支援」「アフターケアを含む地域支援」「親子関係再構築支援」の実現に向けて取り組んでいます。職員がコモンセンス・ペアレンティングの研修を受講し、実践的な支援を目指しています。また、退所後も安心して生活を送ることができるよう、関係機関と連携しながら、個々の状況に応じた支援に力を入れています。

Q 施設での生活はどのような感じですか？

A 各家庭に個別の居室があり、キッチンやトイレも備え付けられています。母子が安心して生活できる環境が整っており、日中は子どもが保育園や学校に通い、お母さんは仕事や家事、育児、休養をとって過ごす方もいます。休日は共有スペースで遊んだり、家族で外出したりと各家庭のペースで過ごしています。必要に応じて職員の支援を受けながら、自立を目指して生活を進めています。



館長 安東 一夫

母子生活支援施設は、DV被害、児童虐待、外国人母子等、多様な背景を抱えている方々の避難先としての役割があります。その多くの方が心理的ストレスの課題に直面している現状があります。母子が安心して生活を続けていける環境整備と、個々のニーズに応じた適切な支援に努めていきます。



定員 30名 現員 31名 (2025年8月末時点)

力を入れていること

入所児童が安心・安全に生活できる環境づくりを第一に、施設の高機能化・多機能化については、2カ所の児童家庭支援センター及び一時保護専用施設の開設やショートステイ専用居室の整備など先進的に取り組んでいます。地域住民からの子育て相談や一時預かり、関係機関と連携した在宅支援など、地域における子育て支援の拠点としての役割を果たせるよう体制の強化に努め、地域の子どもと家庭に対する支援を展開していきます。

Q 休日はどのように過ごすの？

A ユニットや自室の掃除、宿題などに取り組む時間を各ユニットで決めています。本園では、グラウンドやホールで体を動かして遊ぶ時間もあります。自由時間では買い物や公園に出掛けたり、テレビを見たり漫画を読んだりして過ごしています。学校の友人と遊びに出掛けることもあります。施設の行事やボランティアの方との活動もあり、さまざまな経験ができています。合気道と書き方のボランティアは第2、第4土曜日で定期的におこなっており、参加児童も集中して取り組んでいます。



施設長 安藤 寛

「子どもの最善の利益」を図ることを第一に考え、安心安全な日常生活を軸に、一人ひとりに寄り添い、子どもたちが笑顔でいられるよう全職員で取り組んでいます。そして、子どもたちの成長を支える職員も、互いに支え合い、認め合い、笑顔で働ける職場環境づくりに努めています。



定員 20名 現員 20名 (2025年8月末時点)

力を入れていること

入所施設では、災害や感染症など緊急時にもサービス提供を継続できるよう事業継続計画を策定し、定期的に訓練を実施しています。非常時において少しでも利用者の不安を軽減するためには、一人ひとりの意思や希望を尊重し、本人の意向に沿った生活がおこなえるかが大事になります。言葉にならない表情やしぐさなどをくみ取り支援に活かすよう日頃から意思決定支援の取り組みを重ねています。

Q 意思決定支援とは？

A 自らの意思を表出することや決定することがむずかしい障がいのある方が、日常生活や社会生活に関して自らの意思が反映された生活を送ることができるよう支援していくことです。それは身近なところから始まり、例えばうえの園では毎月1回セレクト食をおこなっています。栄養士が個別に希望を聞き、食べたいメニューを選んでもらいます。希望を伝えることができない方でも、尋ねたときの反応や普段の食事の様子を踏まえて、できる限り本人が好んでいるものを選択できるよう工夫しながら取り組んでいます。



園長 関谷 眞佐子

施設の特性や役割を活かし、障がいのあるなしに関わらず誰もが安心して生活できる街づくりを目指しています。私たちが積極的に地域へ出かけることで、障がいのある方への理解が深まり地域福祉の向上につながるものと信じています。



定員 10名 現員 10名 (2025年8月末時点)

力を入れていること

子ども一人ひとりが自分の価値を実感し、自己肯定感を高めることは、自立した生活への第一歩です。日々の関わりのなかで成功体験や肯定的な声掛けを重ね、自己理解を深めながら、自分の思いや希望を大切にす力を育むような取り組みをしています。その結果、自らの意思で生活を選択し、より主体的に人生を歩む力を身につけてくれることを願っています。

Q 家族支援とはどのような支援ですか？

A 入所の子どもの家族に対する支援全般を家族支援と言います。卒園後も親と子どもがお互いを思いやりながら関係を築いていけるよう、職員が間に入って面会、外出、帰省の日程調整をおこなう他、交流のステップアップとして園内でのおやつ作り等の企画を検討する役割を担っています。各家庭によって交流の内容や頻度は異なるので、子どもたちや家族の意向を確認し、最善の交流ができるよう何度も話し合いをするようにしています。



園長 関谷 眞佐子

だれもが困ったときにためらわずSOSを出せるよう、安心して頼れる人や場所が身近にある社会を目指します。日常的なつながりを大切にし、助けを求めることは恥ずかしいことではないという意識を広め、支えあいの輪を築いていきたいです。



定員 200名 現員 210名 (2025年8月末時点)

力を入れていること

法人で策定された「5つの行動指針（職員一人ひとりが大切にすること）」の具現化に向けた取り組みを進めています。そのためにはまず、日々の保育や園行事、園内研修の充実が必須です。これまでの積み重ねで一定の成果をあげていますが、今後も子どもの喜びを第一に取り組んでいきます。また、えんえんの開設とあわせて情報発信や地域交流の工夫をおこなっています。これらの取り組みを通じて職員が、持ち味を発揮して自己肯定感を味わうことで、組織としての力を高めています。



園長 堤 郁夫

近年、Instagramを検索して保育園の情報を得る方が増えてきました。そこで、昨年度から職員組織に「インスタ部」を設置して積極的に情報発信をおこなっています。閲覧数、フォロワー数ともに増加し、えんえんを含む本園への関心が高まっています。担当職員は、幅広い年齢層に受け入れられるよう積極的に画像や文章表現の工夫に取り組んでいます。



Q 保育士が、子どもと遊んでいる時に大切にしていることはなんですか？

A 子どもは遊びを通してさまざまなことを学んで成長します。そのため、保育士自身が楽しんで遊ぶことを大切にしています。ただ一緒に遊ぶだけではなく、一人ひとりの興味や発達に応じた遊びを考え、子どもが夢中になれる環境を整えることが大切です。そして、子ども一人ひとりが決められた遊びではなく、主体的に遊びを選べるよう、多様な遊びのコーナーを設けています。保育士はそのような環境のなかで、ていねいな関わりで安心できる保育を心がけています。

定員 152名 現員 151名 (2025年8月末時点)

力を入れていること

「子どもが夢中になって遊ぶ環境づくり」をテーマに、客観的条件（時間・空間・遊具）を深めるべく、保育の動画を撮影したものを小グループに分かれて意見を出し合うなど討議しながら保育環境を整えています。引き続き“わらべうたあそび”も取り入れ「スキンシップを大切にした保育」を心がけています。これに加え自主研修で研鑽を積み、保育の質の向上を目指しています。また、SNSや就職フェアなどに力を入れ魅了発信に努めています。



園長 阿南 奈緒美

質の高い保育提供のためには、同じ価値観をもつ職員の確保が必要です。育児・介護休業法が改正され、柔軟な働き方を進めるためにも余裕のある職員配置が課題です。「子ども主体の保育の充実」と「働き方改革」という2つの柱を両輪として取り組みを進めることで、持続可能な保育体制の構築を目指しています。



Q 保育園での食育ってどんなの？

A 食育の一環として、今年度から3歳以上児クラスで「バイキング形式」を始めました。調理員が盛り付けの見本を示し、子どもたちはそれを見て食べられる量を決めます。年長児はフルバイキングで主菜、副菜、果物を自分で皿に取り、年中児はセミバイキングで食べたい量を伝え調理員に取り分けてもらいます。自分で選ぶことで楽しく食べる習慣が育ち、食べられる量が分かり、食事量も安定してきました。そのことで残菜も減少しています。また、新鮮で栄養価の高い地元の食材を活用する地産地消の取り組みもおこなっています。生産者の顔が見える安心感もあり、さまざまな食材に興味を持つきっかけになっています。

相談支援事業所 うえの園

相談支援事業所うえの園では障がいのある方やご家族の気持ち、想いに寄り添い、その人が快適に地域生活や社会生活を送ることができるようにサポートをおこなっています。相談支援専門員が、障がいのある方やご家族のみなさまからの相談に応じ、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、障害福祉サービスなどをご利用の際に必要な、「サービス等利用計画および障害児支援利用計画」を作成いたします。また、

希望に応じた適切なサービス利用がおこなえているかどうかを一定期間ごとにモニタリングし、よりよいサービスを提供できるように状況に応じて関係機関との調整をおこないます。

TEL:097-574-8535

【ご利用時間】月曜日～土曜日（祝祭日は除く）
10:00～18:00 | みなさまの「これから」と一緒に考えます。お気軽にご相談ください。



相談支援専門員が、障がいをお持ちの方やご家族のみなさまからの相談に応じます

児童家庭支援センター ゆずりは/HOPE

児童家庭支援センターは、児童福祉法によって設置されている相談機関です。子どもの発達や子育てに関することや家庭、学校、毎日の生活のことなど、どんなことでも相談できます。保護者の方、子ども本人、地域の方など、どんな方のご相談にも応じ、相談支援員や心理士が、お電話や訪問、来所によってお話をうかがいます。
・ショートステイ/トワイライトステイ事業…大分市や県南地域の市町村からの委

託を受け、ショートステイ・トワイライトステイ事業をおこなっています。
・大分くらしサポート事業…生計困難者等に対する生活・相談支援事業に参画しています。生活困窮者へ物資援助と支援、3ヶ月間の見守りをおこないます。
・子育てサロンるんるん♪（ゆずりはのみ）…保護者の負担軽減や子どもへの体験活動の提供など家庭支援のため毎月第4土日にゆずりはや近隣施設で実施しています。



子育てサロンるんるん♪の活動風景

2024年度寄贈者一覧

たくさんのご支援、ありがとうございました（順不同・敬称略）

別府厚生館

一般社団法人バンクフォースマイルズ、一般社団法人miraie、小野梅子、株式会社ドミノ・ピザ・ジャパン、九州アイスクリーム協会、九州納豆組合、国際ソロプチミスト大分みどり、佐藤みどり、末永昌久、大法輪寺別府別院、野中博美、花井和子、別府市社会福祉協議会、別府市ボランティア連絡会、別府中央ライオンズクラブ女性部会、別府ライオンズクラブ、ロクシタンジャポン株式会社

森の木

むぎの会、安部民子、小山浩、大津豊廣、大法輪寺、大分キャピタルロータリークラブ、タイガーマスクプロジェクト、ローソン顕徳町店、花井和子、ダイヤモンドグループ、永實株式会社代表取締役 黄怡伶、九州労働金庫、甲斐富久代、松尾吉江、杉田和博、葵会館、匿名、岡部睦雄、麻生正義、田中良美、パンカフェ コツチ、村上、マルシェ、九州納豆組合、株式会社サニープレイスファーム、林田里美、株式会社EXTRA、文屋木下豊、有限会社パティオ、ゆうび株式会社、衛藤正寛、大法輪寺別府別院、衛藤舞、GPM株式会社、慎重煥・羅京善、初瀬井路土地改良区、株式会社セリア・ロイル、賀来校区民生委員、小野、大分県遊技業協同組合・内川聖一、永嶋辰也、安達真知子、丸井綾子、大分梅花ライオンズクラブ、アンビシャス国際美容学校、フィリップモリスジャパン、小出真一、三又順一郎・サヨ子、阿比野建設株式会社 管家修一、渡辺萬里江、芳香園、川野義人、小原ゆう子、飯倉安隆、十時茂美智、安部和子、高山久信、大和リース、門司一徹、株式会社フレーベル館、副田敦美、株式会社フットボールクラブ、つばさ歯科、羽田歯科、かさき歯科、中川歯科医院、きし歯科ファミリークリニック、常和会森いとう歯科医院、永井歯科医院、二宮歯科、橋本まゆみ、24時間テレビチャリティー委員会、天使のおやつ、株式会社ドミノ・ピザ ジャパン、日本饅頭組合、株式会社グランディーズ、株式会社インホープ、河野博明、葛城政美、角勝典、佐世達也、日高佐和子、有限会社波津久養豚場、株式会社AIC、NPO法人グッドライフ、安部庸夫、三浦テルコ、全国シャンメリー協同組合、あしながサンタ、大分県農業共済組合、学習塾ベガサス、なんぶ、有限会社村村松水産、武野慎祐、江藤行大、大多和敬江、内野優、長野

比呂志、大分エージェンシー、大分ヨゼフおじさん、ほっともっと、豊後魂、フォスタジオ ビノキオ、株式会社堀文、安部眞一郎、日本製鉄、修進建設有限会社、山口莉紗、渡辺淳二、阿部寿恵、糸永和人、大分県養豚協会、株式会社タカフジ、24時間テレビチャリティー委員会HOKA、大分銀行労働組合、神田昌利、三井住友銀行、小野則夫、甲斐小百合・拓也、渡辺和郎、高司洋志、村石哲也、カーブス萩原店、小林理、了戒智恵美、あっきらきら農園、宇留嶋エツ子

うえの園・清明あけぼの学園

イオン九州イオンパークプレイス大分、明治地区自治会長、二豊フーズ、飛瀬麻美、後藤（匿名）、ニッタン（株）、九電工、テレビ大分営業部、大分県遊技共同組合、日隈健一、日隈八寿彩、日隈一寿、竹田ライオンズクラブ、九電QAN

滝尾保育園

高橋智美、滝尾保育園保護者会、羽田東サロンの会、緑風苑、白寿苑

えんえん

日本連合警備株式会社、株式会社大分子どものとも社、平倉建設株式会社、UMA/design farm 原田祐馬、竹尾真由美、鬼塚電気工事株式会社、鬼塚産業株式会社、有松一郎、矢橋徹建築設計事務所、金子結花、岸木麻里子、秦野恭義、此本浩毅、羽田東自治会、ふれあいサロン羽田、上杉千恵子、佐藤歯科、学研教室

明野しいのみ保育園

明野しいのみ保育園保護者会

みなさまからいただいた寄付は、現在利用している方々のためや、将来のより良い環境づくりのためなどに役立てています。より良い福祉の実現に向けて、みなさまのご支援を心よりお願い申し上げます。
寄付・寄贈をご検討中の方は、法人本部もしくは各施設へ事前にご相談ください。

私たちの想いを伝えるメディア

大分県福祉会ってどんなところ？ どんな職業の人が働いているの？
いろいろな疑問にお答えできるよう、施設の雰囲気や実際に働く職員の想いや
日々の支援の様子などをさまざまなメディアを通してお伝えしています。



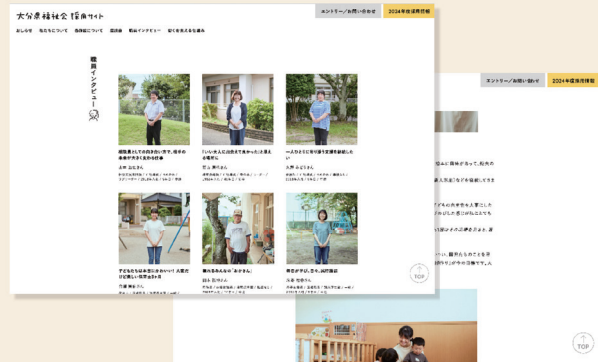
社内報

職員自ら取材・執筆し、働く私たちの生の声を取り入れた職員一人ひとりの個性がふれる内容となっています。各施設の様子やトピックスも載せており、各施設の日常の雰囲気がわかります。



法人Webサイト・法人パンフレット

各施設の特色や魅力を職員で再考しながら作成、伝えづらいそれぞれの福祉事業をわかりやすく紹介しています。今後も随時アップデートする予定です。パンフレットのPDFは、法人Webサイトからダウンロードして、ご覧いただけます。



採用Webサイト

勤務形態や勤務条件などの採用情報だけでなく、実際に働いている職員のインタビューや対談を紹介しています。写真も豊富で、法人や各施設の雰囲気を詳しく知ることができます。応募をご検討中の方はもちろん、たくさんの方に見ていただきたいです。



会報

法人内外のみなさまに大分県福祉会のニュースや各施設の取り組みの進捗をお伝えし、より透明性の高い、より地域にとって親しみやすい法人を目指しています。



社会貢献活動

大分県福祉会は、利用者様、地域のみなさま、職員がつながりながら、
さまざまな社会貢献活動をしています。

別府厚生館

●別府八湯温泉まつり：別府市子ども会育成会連合会のメンバーとして、子どもたちが創作した神輿で湯けむり総パレード参加や別府市子ども会育成会連合会のメンバーとして別府市の祭りなどの催事に参加しています。
●災害時の緊急避難場所：災害時の地域の避難所として施設を利用できるよう、地域と締結しています。
●夕涼み会：年に1回、地域の方や退所した家族も参加できる祭りを開催しています。食べ物の出店、子どもたちが考えたゲームコーナーやビンゴ大会などをして交流をしています。
●よろしくの会：地域、学校、関係機関、利用者、そして職員がそれぞれの立場を超えて、よろしくお願いしますという想いを共有し、連携を深める会をおこなっています。



別府八湯温泉まつり

森の木

●賀来校区一人暮らし高齢者ふれあい交流会：賀来公民館と民生委員が中心におこなっていた事業に「福祉同士のつながりをもてたら」と森の木や賀来校区内の福祉施設が加わり、共同で実施するようになりました。毎年7月に地域の一人暮らしの高齢者を公民館と森の木に招待し、お楽しみ会（歌、健康体操など）や食事会をおこないます。高齢者と民生委員、公民館関係者で約100名参加されます。2月には7月に参加できなかった高齢者を含めて、約200食のお弁当を作って民生委員に届けていただいています。
●森の木餅つき大会：年末に地域の方々（森の木自治会）、日本製鐵、森の木が共同でおこなっています。多い年は100名以上が集まり、一緒に餅をつき、つきたての餅や豚汁を囲んで食事をして交流しています。
●賀来神社おとも太鼓：毎年、賀来神社の祭りで「おとも太鼓」に小学生が地域の練習に参加し、当日

は太鼓を叩きながら地域を練り歩いています。
●賀来公民館まつり：賀来公民館祭りに、森の木として毎年綿菓子の出店をしています。



もちつき大会

明野しいのみ保育園

●地域清掃：月に1回、近くの公園や保育園周辺などのごみ拾いをおこなっています。
●保育園ホールの貸し出し：年に1〜2回、明野しいのみ保育園の多目的ホールを地域の話し合いの場として貸し出しています。
●地域サロン：4、5歳児を対象に地域サロンの方々との交流の場を設けて、わらべうた遊びをしたり、季節の制作をしたりしています。
●青少年赤十字花いっぱい運動：道路沿いの花壇にチューリップを植えて地域の歩道を花で明るくし、道ゆく人を楽しませています。
●おゆずり会：着られなくなった服を集めて、年に2回開催しています。余った服は、ポリオワクチンなどの支援に使われています。



地域サロン

うえの園・清明あけぼの学園

●AED研修：年に1回地域の方にも参加していただき、職員と一緒にAEDの使い方の学習をおこなっています。施設内にあるAEDの場所を確認し、いつでも貸し出しができることをお伝えしています。

●福祉避難所：台風などの災害時に大分市の要請に応じて、障がいのある方と付き添いの方の福祉避難所として登録をしています。施設内の一部スペースを開放し、非常食や寝具類などを提供できるようにしています。
●地域清掃：大分市一斉清掃日には、施設で生活している人たちも職員と一緒に地区の清掃に参加をしています。また、秋には日頃利用している公園や歩道のゴミ拾いや草取りをしています。



地域清掃

滝尾保育園

●たきお空色マルシェ：2022年から地域活性化を目的に開催している「たきお青空マルシェ」を2025年5月から「たきお空色マルシェ」と改めて開催しています。5月のマルシェでは、キッチンカーや手作り雑貨や職員の手作りドリンク、ワークショップの出店で交流を図りました。また、年長園児による太鼓や地域の羽田神楽を披露してもらい盛り上がりしました。
●羽田東公園愛護会活動：地域の方とともにえんえんに隣接する公園や野原の環境整備に取り組んでいます。「のはらクラブ」を発足し、野原の整備をしたり、月一度子どもたちと一緒に草取りやゴミ拾いをおこなったりしています。
●地域交流：地域のふれあいサロンの方や緑風苑・白寿苑に入所している方と、年数回定期的に交流をしています。



たきお空色マルシェ

伝統行事 友情の螢

友情の螢は今年度で第73回を迎える歴史ある行事です。竹田市立竹田小学校で式典をおこなった後、6年生のみなさんと清明あけぼの学園の子どもたちがレクリエーションを通して交流しました。障がいについて知り、お互いの違いを理解し合いながら、思いやりの心を育む貴重な機会となりました。交流終了後は明治分館に移動し、実際に光りながら飛んでいる螢を鑑賞。このような経験を通し、子どもたちの心に残る大切な時間となりました。





Photo:Kaichiro Fujimoto



ひとりの困りごとにも まなざしを向ける

まわりの情報をぐんぐん吸収して、日々変化していく子どもたちは、まるで社会や環境を測るものさしのようなのです。

子どもたちが笑顔になれる場所は、周りの大人も職員も地域もみんなが笑顔になれる、どんな人でもきっと生きやすい場所です。

「大分県福祉会」では、そうした場の実現を目指して、子どもを中心に多岐にわたる事業をおこなっています。年齢や障がいの有無、家庭環境に関係なく、みんなが笑顔になるには、既存の枠組みのなかでは、行き届かないこともたくさんあります。

だからこそ、このもどかしい気持ちを原動力に変えて、まだ見えていない人々の生きづらさに向き合い、真っ先に手を差し伸べられる存在であるために、考えることを諦めないこと。それが、私たち大分県福祉会の役割だと考えています。



各施設の連絡先・事業内容

母子生活支援施設 別府厚生館

TEL 0977-22-0418 (24時間受付) FAX 0977-25-9211 メール b-kouseikan@oitakenfukushikai.com
母子生活支援／緊急一時保護事業・ショートステイ／子育て相談

障害者支援施設 うえの園

〒870-0823 大分県大分市東大道 2-3-3
TEL 097-546-3551 FAX 097-543-4414 メール uenoen@oitakenfukushikai.com
施設入所支援／生活介護事業（通所の方を含む日中の活動）／短期入所事業（宿泊）／日中一時支援事業（日帰り）

障害児入所施設 清明あけぼの学園

〒870-0823 大分県大分市東大道 2-3-3
TEL 097-546-3771 FAX 097-543-4414 メール uenoen@oitakenfukushikai.com
障害児入所施設／一時保護委託事業／短期入所（宿泊）／日中一時支援事業（日帰り）／盲児・ろうあ児等専門支援事業／
児童発達支援管理責任者による相談受付／発声発語訓練

児童養護施設 森の木

〒870-0862 大分県大分市大字中尾 457-1
TEL 097-549-3508 FAX 097-549-0535 メール morinoki@oitakenfukushikai.com
児童養護施設／地域小規模児童養護施設：さくら・きんもくせい／一時保護所 明日葉／児童家庭支援センター ゆずりは・HOPE／
里親支援／ショートステイ・トワイライトステイ

保育所 滝尾保育園

〒870-0942 大分県大分市大字羽田 456
TEL 097-569-3384 (滝尾児童クラブ TEL 080-8592-2479) FAX 097-567-3811 メール takio@oitakenfukushikai.com
0～5歳児保育／滝尾児童クラブ

地区の家 えんえん

〒870-0942 大分県大分市大字羽田 432
TEL 097-569-3384 メール enen@oitakenfukushikai.com
一時預かり保育／病後児保育／子育て広場・子育て相談／地域交流

保育所 明野しいのみ保育園

〒870-0164 大分県大分市明野西 2-25-2
TEL 097-558-2211 FAX 097-556-6944 メール akenoshiinomi@oitakenfukushikai.com
0～5歳児保育／子育て広場・子育て相談

相談事業の連絡先

児童家庭支援センター ゆずりは

〒870-0025 大分県大分市顕徳町 1-13-17
TEL／FAX 097-574-8525 (24時間受付) メール jikasen.yuzuriha@oitakenfukushikai.com

児童家庭支援センター HOPE

〒876-0853 大分県佐伯市中村東町 3-18
TEL 0972-28-6317 (24時間受付) FAX 0972-28-6324 メール jikasen-hope-@oitakenfukushikai.com

相談支援事業所 うえの園

〒870-0025 大分県大分市顕徳町 1-13-17
TEL 097-574-8535 (月～土 10:00-18:00 ※祝祭日は除く)

社会福祉法人 大分県福祉会 会報 第90号

発行日：2025年9月30日 発行者：安藤 寛

〒870-0025 大分県大分市顕徳町 1-13-17
TEL 097-532-3472 FAX 097-532-3475 メール honbu@oitakenfukushikai.com

編集責任：堤 郁夫（滝尾保育園 園長）

編集委員：佐藤 浩志・大垣 夏希（森の木）、香田 沙紀（別府厚生館）、平安 智哉・江藤 淑子（うえの園）、丹羽 正次郎・清水 美佳（清明あけぼの学園）、
清水 名保子・松川 愛（滝尾保育園）、重田 綾・田代 真実・大嶋 美月（明野しいのみ保育園）

顧問：関谷 眞佐子（大分県福祉会事務局長）・安東 一夫（大分県福祉会顧問）

編集ディレクション：竹尾 真由美 デザイン：UMA/design farm